

鶴亀庭園

寺院の両端と竹の柵に囲まれた小さな庭園は、江戸時代（1603 -1868 年）に作られ、日本では、祝福と長寿の象徴とされる 2 種類の動物がかたどられて組み込まれています。

庭には、水から突き出た亀の甲羅のようにこしらえた島のある池があります。池の形には、鶴の翼が表されています。

苔むした丘の横には丁寧にならされた砂利で囲まれた池があり、水中には鯉が泳いでいます。庭にはもみじの木と沙羅の木が植えられています。